

群馬県立歴史博物館 第108回正画展

れきはく

生き物大集合★



令和5年 7月8日(土) ~ 8月27日(日)

■休館日：毎週月曜日(ただし、7月17日は開館、翌18日休館。8月14日は開館)
■開館時間：9時30分~17時(入館は16時30分まで) ■会場：群馬県立歴史博物館 企画展示室
■観覧料：一般800(640)円・大高生400(320)円・中学生以下無料
*()内は、20名以上の団体割引料金 / 障がい者手帳等持参者とその介護者1名は無料

おまけ

子どものための展示

れきはく 肝ためし



- 1 招き猫
- 2 【国華文】鶏形磁輪 剛志天神山古墳
- 3 瀬戸美濃焼四耳壺と中に入っていた昆虫(薬用)
- 4 浜松張り子 飾り馬・兎車
- 5 月岡芳年「新形三十六怪撰」茂林寺の文福茶釜(部分)
- 6 歌川芳艶「源頼朝牧野の図」(部分)
- 7 蛭体模型
- 8 河童(想像模型)
- 9 歌川貞秀「怪物尽」(部分)
- 10 11 河鍋曉斎「百鬼画談」(部分)

群馬県立歴史博物館
Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1
アイ・ディー・エー群馬の森公園内
TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534



れきはく

生き物大集合★

人類はその誕生から、生き物と深く関わり合って生きてきました。旧石器時代には、オオツノジカなどの大形動物を狩り、縄文人はイノシシやシカの狩猟のほか、貝や魚を捕る漁労も盛んに行っていました。歴史を紐解くと人と生き物の切っても切れない関係が浮かび上がってきます。

関係も多様になってきます。本展覧会では、「人と生き物の関わり」に着目し、考古・民俗・絵画・文献資料など様々な歴史資料に登場する生き物を紹介します。

時代とともに人々の暮らしが変化することで、大切にされる生き物も変わり、その



瀬戸美濃焼 四耳壺と中に入っていた昆虫(薬用)

子どものための展示

れきはく

肝ためし

生き物に関連する歴史資料の中から見た目が怖いものを選び抜いて展示します。この夏あなたの「怖いけど見たい」が止まらなごー



月岡芳年 新形三十六怪撰 おもみつら

おまけ



たかじょう 鷹匠 土輪 オクマン山古墳
太田市指定重要文化財
太田市教育委員会蔵



めきさき 買前神社
しかうらしんじ ぼつこつ
鹿占神事のト骨

関連行事 ※1～3は観覧券がなくても参加できます。

1 講演会 (3回)

時間：各回14:00～15:30 会場：視聴覚室
定員：140名(1ヶ月前より電話予約)

第1回 7月29日(土)

講師：金杉隆雄さん(県立ぐんま昆虫の森 昆虫専門員)
演題：「暮らしの中の虫たち」

第2回 8月12日(土)

講師：丸山真史さん(東海大学人文学部 准教授)
演題：「人と動物の考古学」

第3回 8月20日(日)

講師：当館 右島和夫特別館長
演題：「馬と牛と人の歴史」

2 特別企画 落語会 (2回)

時間：各回14:00～15:00
会場：視聴覚室

定員：140名(1ヶ月前より電話予約)

第1回 7月23日(日) 柳家小もんさん

第2回 8月6日(日) 林家つる子さん



柳家小もんさん
撮影 武藤奈緒美



林家つる子さん

3 スペシャルトーク

内容：買前神社鹿占神事について
講師：神保佑史さん(辛科神社 宮司)
日時：7月15日(土) 14:00～14:45
会場：視聴覚室
定員：140名(1ヶ月前より電話予約)

4 学芸員展示解説 (4回)

※学芸員がおすすめの資料を解説します。
7月9日(日) 絵画・歴史資料、7月30日(日) 歴史資料、
8月13日(日) 民俗資料、8月26日(土) 考古資料
時間：14:00～14:30
会場：企画展示室(予約不要)

交通のご案内

電車

東京方面から 上越新幹線・北陸新幹線 東京～高崎(約1時間)
高崎線 上野～高崎・倉賀野(約1時間50分)

バス

高崎市内循環バス「ぐるりん」
JR高崎駅東口から「岩鼻線」(約25分)、「群馬の森線」(約30～40分)
JR倉賀野駅から「岩鼻線」(約10分) ※いずれもバス停「群馬の森」下車

自動車

関越自動車道 高崎玉村スマートICから約10分
高崎ICから約15分
北関東自動車道 前橋南ICから約15分
上信越自動車道 藤岡ICから約10分



群馬県立歴史博物館

Gunma Prefectural Museum of History

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1 アイ・ディー・エー群馬の森公園内 TEL. 027-346-5522 FAX. 027-346-5534